

滋賀でもっと家族になろう！ 「ハグナビしが」

滋賀県が運営している「ハグナビしが」では滋賀県内の、結婚から子育てまでの役に立つ情報を掲載しています。

たとえばこんな時に

「子育て中の親子が集まる場所がほしい」「子育ての不安や悩みを相談できる場所がほしい」といった際に、ハグナビしがにアクセスしてみてください。

ハグナビしがでは、そんな場所を「地域子育て支援拠点」として掲載しています。

ほかにも気軽に相談できる窓口や親子で参加できるイベント情報などがあります。ひとりで抱え込まず「ハグナビしが」にアクセスしてみてください。

問合せ先 子ども・青少年局 ☎077-528-3568



ハグナビしがのウェブサイトはこちら
(無料アプリ「ハグナビしが」もダウンロードできます)



? 今日は何の服を着ようかな?

子どもたちの日常生活の中に
「小さな選択」の機会を増やしてみませんか

「どのおもちゃであそぶ?」「どっちの靴下をはく?」など子ども自身が、考えて選ぶことで「見て」「探して」「見つけて」「触って」「迷って」「考えて」「また迷って」。そして、「決めて」をたくさん経験します。

小さな決断を繰り返すうちに、自信が付き、自分で考えて行動したり、決めたりできる力を育てていくきっかけになります。

2~3歳頃

何でも自分でやってみたいおとしごろ!

「今日、何を着る?」

自分で選ぶ「服選び」。多くの物から選ぶのは難しくても、2~3枚の服の選択肢を示して「どっちにしようかな?」と自分の服を自分で選んでみましょう。自分の好きなものは何かと考え、自分の好きな気持ちを大事にしていいと思える大事な時間です。大人が決めた方が早いと、つい干渉してしまいたくなりますが、子どもが決めることを尊重しながら見守るといいですね。



乳児(0歳)

赤ちゃんにも自分の意思があります!

「おむつ換えようか?」

ひとりの人間として、どんな関わりにも言葉を添えることが大切です。自分で決める大事な生活の一コマを赤ちゃんにも。大人が黙っておむつを換えるのではなく、「きれいにしてあげようか?」と言葉をかけながら子どもの気持ちを汲み、「気持ちよくなったね」と共感しながら進めていきましょう。



「自分で」は子どもの自立心の第一歩!
「自分でやってみたい」と言えるのは、とても素敵なことです。

でもすべてを子ども自身で選ぶことはできません。手伝ってもらったり、手本を見せてもらったりしながら、だんだん自分でできるように応援していきたいですね。

子どもが「小さな選択」に向き合い、決めてよかったと思えるように、例えば買い物に出かけて選んだ朝ごはん用の果物について「○○ちゃんが選んでくれた果物、とっても美味しい、ありがとう」と声を掛けるなど、決めた後の大人のフォローも大切にしましょう。



問合せ先 子ども・青少年局 ☎077-528-3557

「ふるさとしが 探究交流会」を開催します

県教育委員会は、「ふるさと」についての学習の成果を発表・交流する全県的な機会「ふるさとしが 探究交流会」を実施します。小・中学校の総合的な学習の時間等の活性化を図り、子どもたちの読み解く力や表現する力、郷土を愛する心や地域社会に貢献しようとする態度を養うとともに、地域の活性化につなげることをねらいとしています。



ふるさとの魅力・課題とその解決策についての学習成果を交流

探究的な学習とは…

①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現→新たな課題の設定…といった学習活動を発展的に繰り返し、物事の本質を見極めようとする、学びです。



1人1台端末を活用したプレゼンテーション



【期 日】令和5年12月26日(火) PM
【会 場】コラボしが21(大津市打出浜2番1号)
【その他】・出場する学校は、11月頃に決定します。(小・中学校 計8校程度)
・当日の入場は、参加する児童・生徒の保護者の方に限らせていただきます。

問合せ先 幼小中教育課 ☎077-528-4661

第67回滋賀県人権教育研究大会(米原大会)

大会テーマ 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう

全体会 11月3日(金・祝)12:20~16:00
滋賀県立文化産業交流会館

分科会 11月4日(土)9:30~14:30
米原小学校、米原中学校、米原市役所
米原学びあいステーション(特別分科会)



前回大会の様子

今年度、米原大会の現地テーマは、

ともにつながり ともにつくる しあわせの“わ”
~誰もが夢や志を抱ける世界に~

一人でも多くの参加をお待ちしています!

問合せ先 人権教育課 ☎077-528-4592

詳細は滋賀県人権教育研究会HPへ



スポーツの秋、レッツチャレンジ!!

~1日60分以上の運動をしよう~

いろいろな運動にチャレンジして
元気な体をつくりましょう!



運動時間を増やすために

●学校の休み時間に体を動かそう

「チャレンジランキング」に参加して、小学校の他の友だちとも記録を比べ交流し合うなど楽しく体を動かしましょう。

保健体育課HP



●お家で運動遊びをしよう

「お家でもチャレンジ」を参考にして気軽に運動遊びにチャレンジしましょう!『体育の宿題』として、いろいろな運動(遊び)を紹介しています。お家でも気軽にチャレンジしてみてください!

問合せ先 保健体育課 ☎077-528-4627

過去のシリーズ人権教育は、 こちらをご覧ください。

問合せ先 人権教育課 ☎077-528-4592

私が通勤で利用している駅の改札付近には、花が生けられています。毎日慌ただしく、なんとなく目に入る程度で花の前を通ってしまいました。

ある日の帰りに、若者が生け花を見つめていました。その姿に興味を惹かれ、私もわずかな時間でしたが、立ち止まってその生け花を正面から見ました。生け花からは、凛(りん)とした姿でたたずむ力強さと美しさが伝わってきて、日頃の忙しさを忘れ、心が癒される思いがしました。

その日をきっかけに生け花を見る回数は増え、癒しと元気をもらえるこの時間は、私のささやかな楽しみとなりました。

ある日、花を生けておられる場面に遭遇しました。自分の母より少し年上と思われるその方は、生け花の作品作りに集中されていました。話しかけることはできず、心の中で「いつもありがとうございます」とつぶやいて、通り過ぎました。

そんな日々が数年続いたある夏の日の出来事です。珍しく生け花の作品が飾られていない日がありました。「あれ?」とは思ったものの、その時はあまり気にもとめず通り過ぎましたが、何日経ってもガラスケースに作品が飾られることはありませんでした。

私は言葉では言い表せない喪失感を感じていました。生け花からもたらしていた恩恵に気づくとともに、それを与え続けてくださった方への感謝の気持ちがあふれてきました。

そして同時に、自分の母のことを思い出していました。母は、定年の年まで事務関係の仕事をして、私を含めた三人の子どもを育ててくれました。日々忙しく仕事をこなしていた母でしたが、休みの日には家の前に並べたプランターや近くの公園にある小さな花壇に花を植えていました。近所の人たちは母の植えた花を見るたびに「きれいやね」と笑顔で話されていました。色鮮やかな花がある風景は、その頃の私にとって「当たり前」だったのですが、この風景があることで、周りの人の心にうるおいを与え、人と人をつないでいたのだと、改めて感じました。

そんな想いを抱きながら、街中(まちなか)を観察してみると、歩道脇のプランターの花や、飛び出し注意を促す看板、ご自由にお使いくださいと表示された傘や自転車置き場の空気入れなど。駅周辺だけでも私の知らない誰かの、他者を思うあたたかい心遣いにあふれていることに気がつくきました。

その日から、あたたかい心遣いの形を見つけるたびに、心の中で「ありがとうございます」とつぶやくようになりました。今度、子どもを連れて街中にある心遣いを見つけたいと、いつも考えている今日この頃です。



シリーズ
人権教育

「花が伝えてくれたこと」

